

「スマイル」 Smile

今回のテーマ

『予防』

TOPICS

【特集1】 予防って何をしたらいいの？

- ・ 予防できることには何があるの？
- ・ ウェルネスプラン
- ・ TeamHOPE

【特集2】 知っておきたい病気

- ・ 肥満 - かかりやすい病気と対策 -

【特集3】 院内活動報告

- ・ 現場改善運動

【特集4】 photo

shot ★

・ 第2回 ～春～

～ information ～

トリミングサロン
COCOe

からのお知らせ

- ・ ねこ専用外来
- ・ 『ばにつちよの闘病日記』 vol3
- ・ スタッフ紹介 各種お知らせ
- ・ 院内セミナースケジュール



安心のお約束 24時間 看護

日本動物医療センター

理念

“想い”をもって
常に“安心”を提供する

私たちにとって動物は家族の一員やパートナーという存在から、
心の健康をサポートしてくれる欠かせない存在になりました。
ますます高齢化が進んでいく今後、さらにその存在は大きなものになっていくことでしょう。

当院ではそんな大切な動物たちの命を守り、
生活をサポートするため、動物への負担が少ない内視鏡や腹腔鏡を用いた
先端医療を地域の中核病院として先導していくとともに、
シニア期の動物たちのサポートや予防医療など身近で
心に寄り添った治療を提供し続けております。

これら先端医療が、飼い主様と動物にとって真に良いものになるよう
「インフォームド・コンセント」を大切に、
心のこもったわかりやすい説明を心がけて診療に当たるようにしています。

今後は、高齢化する動物と飼い主様の暮らしを最期までサポートできるよう、
終末医療にも取り組んでく所存です。
「24時間診療」「24時間看護」は人員の拡充をもってしても
決して容易なものではありません。

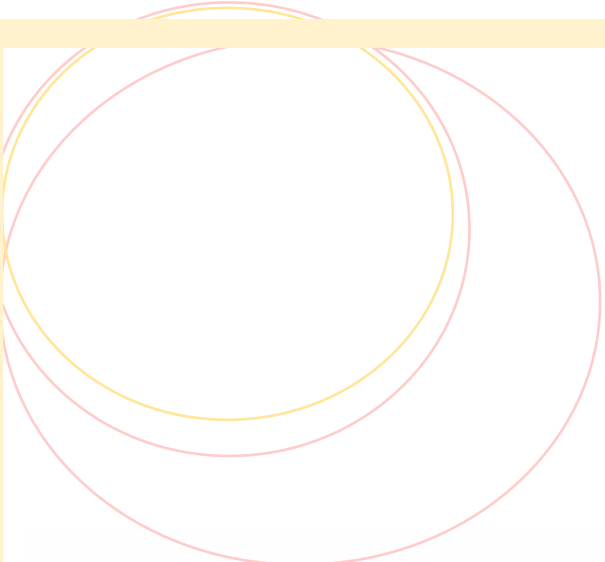
しかし、

「“想い”をもって 常に“安心”を提供する」の理念のもと、
スタッフ一同の力を結集して、真摯に取り組んでいきます。

本年度、この日本動物医療センターに新たに6名のスタッフが加わります。
新しい仲間と共に皆様に安心を提供できるよう日々万進していきます。

日本動物医療センター スタッフ一同





【特集1】 予防ってなにをどうしたらいいの？

- ・ 予防できることには何があるの？
- ・ ウェルネスプログラム
- ・ TeamHOPE



予防できることにはなにがあるの？

予防とは悪い事態が起こらないように前もって防ぐことと定義されます。

感染症から予め体を守ってあげるのがワクチン接種の本来の意義です。

ではワクチンを打ってれば安心というわけではありません。

ワクチンでは防げないようなお病気、それは感染力や毒性の強さ、

その子の抵抗力や栄養状態によって発症するかどうかが決まります。

そのため常日頃からおうちで体を触ってあげたり、

おしっこやうんちの状態をチェックしたり、

お家でできることもたくさんあります。

それでもわからないようなことは、病院での定期チェックで、

防げたはずだったのに…やっておけばよかったのに…がなくなりますように、

私たちも全力でサポートしていきたいと思っています。

予防できることは？

- ☑ 混合ワクチンによる各種感染症
- ☑ 年1回のワクチンによる狂犬病
- ☑ フィラリア
- ☑ 外部寄生虫（ノミ・マダニ）
- ☑ 内部寄生虫（回虫など）
- ☑ 不妊手術

【フィラリア】

蚊によって媒介され、ワンちゃんの場合、心臓に寄生します。

フィラリアにかかると死亡してしまう事も多く、大変怖い病気です。

蚊が出始めてから開始し、蚊がいなくなったあと1カ月まで予防が必要です。

（フィラリア予防と同時にお腹の虫も駆虫できるお薬もあります）

お薬をあげる前には検査が必要です。

ネコちゃんもフィラリアに感染してしまうと、

重大な呼吸器症状が現われ、命にもかかわってることがあります。



【外部寄生虫…ノミ・ダニ】

ノミやダニが付いてしまうとかゆいだけではなく、

アレルギーや貧血などを起こす事もあり、

場合によっては人に感染する病気を媒介する事もあります。

ノミは13℃もあれば繁殖することができるので

出来れば1年中駆除してあげるのが理想的です。

他のワンちゃん、ネコちゃんにノミを移してしまった
りしないようきちんと予防してあげましょう。

【内部寄生虫】

ワンちゃん、ネコちゃんにうつる内部寄生虫（おなかの虫）には、回虫、条虫（サナダムシ）、鉤虫（こうちゅう）、鞭虫（べんちゅう）、原虫などがいます。

いずれも腸管などの臓器に寄生し、宿主が消化した栄養を吸収して生活します。

これらの寄生虫が感染すると、様々な消化器病を引き起こすだけでなく、痩せたり、被毛の脱色などをおこします。



【ネコちゃんのワクチンプログラム】

ワンちゃんと違ってお外に行かないから感染症にはかからない...という事はなく、ネコちゃんにとってもかかってしまっただけでは命に関わるお病気や、非常に伝播力の強い病気はワクチン接種により防ぐことが出来ます。

特に仔猫の場合、死亡原因の約40%は感染症に起因していたとの報告もあります。

お母さんネコから免疫がなくなる頃を目安に（生後8週齢）最初の投与をし、以降14週齢を超えるまで約1ヵ月毎に接種します。

その後は1年ごとに1回接種します。

- ★猫ウイルス性鼻気管炎
- ★猫カリシウイルス感染症
- ★猫汎白血球減少症（猫パルボウイルス）

【ワンちゃんのワクチンプログラム】

混合ワクチン：ワンちゃんのかかりやすい病気には死亡率の高いものもあります。生活環境に合わせ、選びます。仔犬の頃は生後6週齢ごろから14週齢を超えるまで1ヵ月毎に1回接種します。

その後は1年毎に1回接種します。

- ★犬ジステンパー
- ★犬パルボウイルス
- ★犬伝染性肝炎
- ★犬アデノウイルス
- ★犬パラインフルエンザ
- ★犬コロナウイルス
- ★レプトスピラ症

狂犬病ワクチン：ワンちゃんにとって狂犬病はかかってしまったら致死率が100%に近く、非常に怖いお病気です。人にも感染します。現在日本には狂犬病の発生はありませんが、近隣諸国ではいまだ発生の報告があるため、日本への万が一の侵入に備えたワクチンによる予防でしかワンちゃんを守ってあげることができません。

年1回の接種（4～6月）（生後3か月以上）、接種済みの鑑札と注射済票をつけておくことが、法律で義務付けられています。

【不妊手術】

男の子の精巣、女の子の卵巣・子宮を手術により摘出することです。

去勢・避妊の手術をすることで問題行動が改善されたり、病気を予防することができます。

《メリット》

- ・それぞれの性別に特有の病気の発生率を低く抑える
男の子：前立腺肥大、精巣腫瘍、肛門周囲腺腫、会陰ヘルニアなど
女の子：乳腺腫瘍、子宮蓄膿症、子宮癌、偽妊娠(想像妊娠) など
- ・問題行動が改善される
男の子：マーキング、攻撃性など
女の子：猫における発情期独特の鳴き声と行動など

★手術の時期の目安：生後6か月以降

★当院ではワンちゃんの避妊手術を負担の少ない腹腔鏡で行っています。ぜひご相談ください

《デメリット》

- ・全身麻酔をかける必要がある
- ・肥満になりやすくなる
(これは手術前と比べて必要カロリー数が減ることが主な原因で、フードの量を変えることで予防することができます)

たくさんの予防があって何をしたらいいのか分からない飼い主様に

当院ではウェルネスプログラムをご用意しております。

ウェルネスケアプログラム（わんちゃん用）

プログラムコンセプト

私たち日本動物医療センターは、皆様とより身近で深い関係を作り、ご家族が健康で幸せな生活を実現するための特別なサービスプログラムの提供を始めました。ご紹介するケアプログラムは、各種予防医療・健康診断等を通じて、皆様と定期的にお会いする機会を持つことで、わんちゃんに関する様々なご相談を頂ける環境作りを目指しております。また、価格も会員様限定の特別割引にてご案内させていただきます。ご来院の際は、皆様が感じておられる不安や疑問について、何でもご相談ください。

プログラムメリット

ご家族のニーズに応じたプログラム内容

メリット1

ご家族のニーズに応じたプログラムを各種プランに折り込みました。飼い主様への問診、本プログラム内で実施した検査結果を踏まえ、わんちゃんにあった管理方針を検討します。加え、飼い主様の義務となっております狂犬病ワクチンや、ノミ・ダニ、フィラリア予防、混合ワクチンを、わんちゃんの生活環境、飼い主様のご希望など、ご家族のニーズに合わせてご案内させていただきます。

わんちゃんの健康に関する相談しやすい環境

メリット2

定期的にご来院頂き、各種プログラムをご提供する過程で、わんちゃんに関して感じておられる不安や悩み等ございましたら、獣医師・動物看護師にご相談ください。

リーズナブルな価格

メリット3

本プログラムは特別なサービスプログラムとなっております。本プログラムは通常と比較して、リーズナブルな価格にてご提供させていただきます。

プログラム内容の例

予防医療	: 狂犬病ワクチン（1回） フィラリア予防（年9回） 混合ワクチン（年1回）
身体検査	: 耳検査 ・ 眼検査 ・ 直腸検査 ・ 歯科検査 ・ 神経学的検査 ・ 体重、栄養に関するカウンセリング ・ 皮膚、被毛の評価 ・ 腹部触診 ・ 泌尿生殖器の評価 ・ 骨関節の評価 ・ 循環、呼吸器系の評価
健康診断	: 血液検査（全血球検査・生化学検査・CRP・電解質・凝固系・TBA・T4・BNP） 尿検査（比重・尿試験紙・顕微鏡検査・UPC） 便検査（直接・浮遊） レントゲン検査（胸部腹部頭頸部） 超音波検査（心臓、主腹部臓器） 心電図検査・血圧測定
その他	: 爪切り ・ 耳そうじ ・ 口腔クリーニング ・ 肛門腺絞り ・ フード15%OFF ・ cocoelにてSPAメニューを割引施術

5歳以上のワンちゃん・ネコちゃん
→1年に2回以上の検診をお勧めします

詳しくはスタッフまでお尋ねください♪



TeamHOPEとは、
全国の獣医師が中心となり、動物愛護の精神に基づき立ち上げた啓発プロジェクトです



限りある時間だからこそ、予防の大切さを知ってください。

皆さまは動物病院を、ペットの具合が悪くなってから訪れる場所だと思いませんか？

動物病院は治療はもちろんですが、病気への予防をする場所でもあります。

ペットに症状が出てから動物病院を訪れるのではなく、
健康な時から動物病院で健康をチェックすることは、
大切なペットの小さな変化に気づく大きなきっかけとなります。

ペットとその家族が一日でも長く楽しい毎日が続けられるよう

私達、日本動物医療センターもこの活動に賛同し

「ペットの健康を保つ、ペットを病気から守る」ことの重要性を発信していきます。

「ペットとの大切な時間をいつまでも」 私たち、Team HOPEの全ての病院の願いです。



ご自宅でも可能な健康チェックをしてみませんか？
ペットの変化に早く気付くことも予防の一環です。

下記にアクセスして下さい。

<https://www.teamhope.jp/activity/wellness>

Supported by **ROYAL CANIN**

【特集2】知っておきたい病気

ネコちゃんワンちゃん大丈夫？

肥満

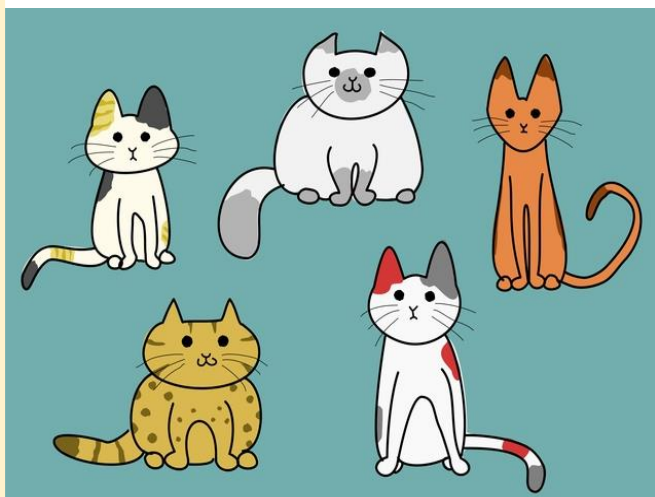
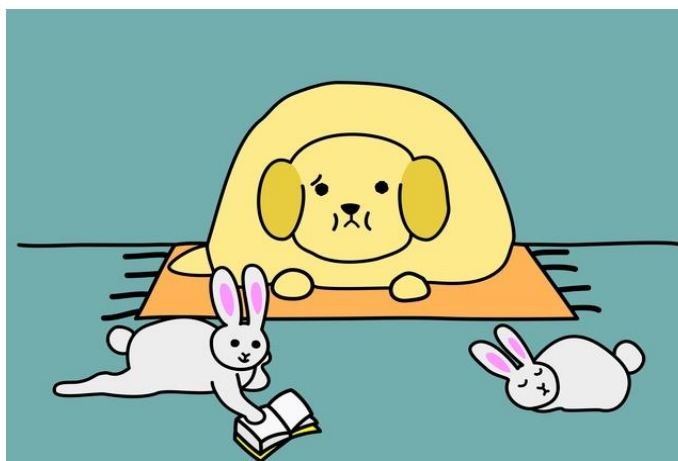
～少しでも長く一緒にいたいから～



肥満とは

正常な状態に比べて10%以上体重が多く、体脂肪が過剰に蓄積した状態のことをいい、日本での犬・猫の肥満の発生率は20～40%といわれています。

肥満になると、体の様々な場所で炎症が持続しやすくなり、多くの病気を引き起こす原因となります。



肥満の原因

食餌・活動性・遺伝・性別・年齢・不妊手術が肥満の危険因子といわれています。

日常生活の中では、食事のコントロールと運動不足の解消が肥満の解消・予防に大切です。

一方、体重を維持する仕組みが機能しなくなる病気によっても肥満になることがあります。

肥満による病気

それぞれの病気に関しては、獣医師にご相談ください。

骨格への影響



体重過多になると、関節や筋肉への負担が大きくなり、骨折、関節炎や靭帯の損傷などが起きやすくなると考えられます。痛みを伴うとさらに運動をしなくなり、肥満の悪循環が起きてしまいます。

糖尿病



肥満によって代謝が変化することで血糖値のコントロールをするインスリンがうまく働かなくなるため、糖尿病になりやすくなります。

呼吸器疾患



肥満と気道抵抗性（呼吸のしにくさ）は関連があるといわれています。とくに、“ハアハア”と呼吸が速い時に呼吸器への負担が強くなり、様々な呼吸器疾患への影響が考えられます。

腫瘍

犬と猫では、肥満が一部の腫瘍形成の危険性を高める可能性が報告されています。

泌尿器系疾患



犬は肥満により尿道機能が落ちるといわれていて、またシュウ酸カルシウムという尿道結石ができやすいようです。猫でも尿路系の疾患が増えるといわれています。

脂質代謝異常



猫では肝臓に脂肪が蓄積して機能が低下、犬では高脂血症に関連した疾患にかかりやすくなります。

消化器疾患

猫では口腔疾患や下痢などの消化管疾患、犬では膵炎との関連が報告されています。

皮膚疾患



特に猫で、グルーミングができない箇所での皮膚疾患が増えてしまいます。また、肥満の動物は暑さにも弱くなり、麻酔をかけたときの危険性も上昇します。

まずは太らせないように！

不妊手術後は代謝が約20%落ちるといわれています。

今までと同じようご飯をあげていると、どんどん体重が増えてしまうおそれがあります。

不妊手術後に体重増加の傾向がある子は、

ご飯の量を徐々に減らしていくか(3/4程度まで)、ダイエット用のご飯に変えてみましょう。

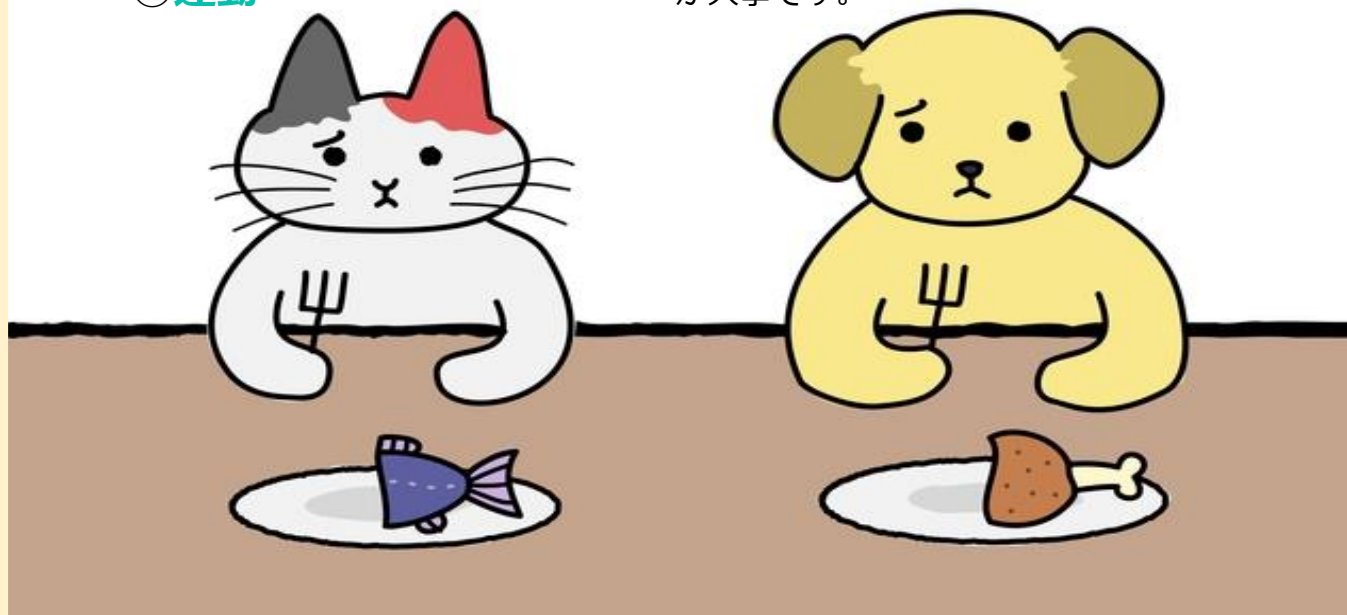
病院から処方する特別なダイエット用のご飯もあります(給与量を見る時は今の体重ではなく、理想の体重でみるようにしましょう)

減量または太らせないようにするには

①食餌管理

②運動

が大切です。



満腹感を！

ご飯を消化・吸収するときには一定のエネルギーを使うため、

1日1回のご飯よりも複数回あげたほうがよいといわれています。

また、満腹感を与えるためにご飯をふやかして、かさ増しするのも良いでしょう！

野菜を足すのもよいですが、低カロリーだからと足しすぎてしまうと

過剰摂取になってしまうかもしれませんね。



ご飯を変えるときは

新しいご飯を今までのご飯に少しずつ混ぜ、7～10日かけて切り替えるようにしましょう。

一気にご飯を変えると食べなくなってしまう子もいます。

特に肥満傾向の猫ちゃんがご飯を急に食べなくなってしまうと、

『肝リピドーシス』という病気になってしまうこともあるので、ご飯の変更はゆっくりと行い、食べてくれていることを確認しましょう。



ダイエットの壁。。。。

運動してくれない！

なかなか減らないからあきらめてしまう！

食事を減らすと機嫌が悪くなったり鳴いたりしてしまう！

ご飯を変えると食べてくれない！ですが、、、



肥満は万病のもとです！！

まずはスタッフに声をかけてください♪

一緒にがんばりましょう！

【特集3】院内活動報告

・現場改善運動

アンケートチーム

地域貢献活動チーム

バリアフリーチーム

待合室・診察室改善チーム

Smile編集チーム

院内美化・素敵空間プロジェクトチーム

Streamline 情報共有チーム

院内感染対策チーム

現場改善運動とは…

当院の理念である『想いをもって常に安心を提供する』を、
どうすればもっと発展させることができるか。

それをスタッフ自らが考え、発案し、改善するという一連の活動を、
継続して行っていく運動の事です。

昨年の7月に始まったこの運動は、10月と1月の院内発表会をもって、
2014年度の活動をいったん終えましたが、
その後も院内の各係へと引き継ぎ継続していく予定です。

日本動物医療センターの全スタッフを8グループに分け、
各チームがテーマを掲げて取り組んだ活動内容を、
飼い主の皆様にも分かりやすく、1チーム1ページにまとめました。

日々の診療や看護に明け暮れながらも、
精力的に取り組んだスタッフたちの汗と涙の結晶?(笑)を
ぜひご覧いただければと思います!



アンケートチーム☆報告まとめ

メンバー：古川、竹村、瀧之入、中川

《チーム活動の背景》

アンケートチームは、『**飼い主様のニーズを把握し、適切にお答えできるようにする**』ことを目標として、今回は飼い主様を対象としたアンケートを作成・実施（2014年9-11月）致しました。皆様のご協力により、合計95名の方にお答え頂きました。簡単にではありますが、取組後に見えてきた課題・成果についてご報告します。

《アンケート実施後の課題》

- ① アンケートをお願いするタイミングが難しい
飼い主様にとって迷惑でないか気になった

- ② アンケート結果の集計・飼い主様への情報共有

- ③ アンケートにご協力頂いた方に対し、
その場でのお話が難しい！

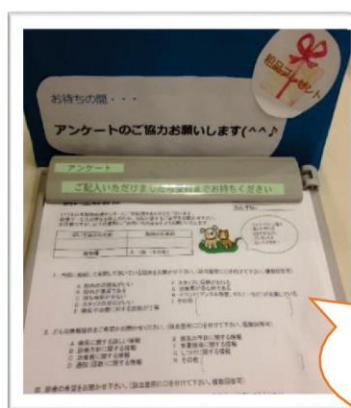
《その後の取り組み》

置き型にして待合室に設置
⇒待ち時間に自ら記入して下さる方が
たくさんいらっしゃいました！

アンケートを集計し、待合室に掲示！

アンケートに答えていただいた方を担当医へ
報告。再診時に改めてお話・提案をする方針へ

待合室に掲示



置き型にして
待合室に設置

《今回の活動をふまえて》

- ・アンケートにお答えいただいた飼い主様へのお話⇒担当医から年度内にお話し予定
- ・集計結果⇒今後、院内セミナーの題材として飼い主様にフィードバック
- ・アンケートの実施⇒院内のチームに引き継ぎ、継続して定期的の実施予定

この活動を行うにあたり、サポートしてくれた病院スタッフ、そして飼い主様のご協力により、有用な結果を得ることができました。本当にありがとうございました！



セリタ-GUY

地域貢献活動 後半活動報告

課題1：学校訪問

課題2：院内掲示にて報告

課題3：ホームページ掲載

課題4：質問の回答お便り

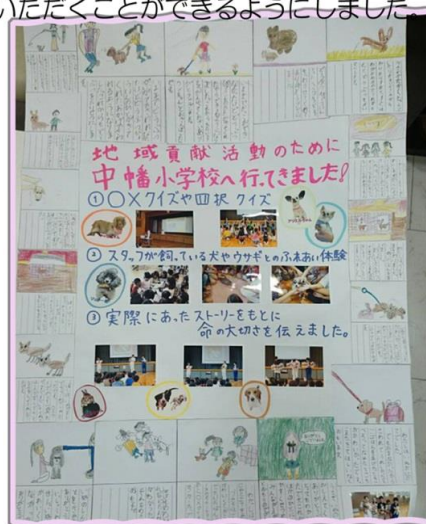
① 学校訪問

今回で4回目になる学校訪問には
スタッフ6名ふれあい犬4頭で参加してきました。
今までにない3クラス3時間の長い授業でしたが
元気いっぱいの児童の皆さんと
楽しみながら命の大切さについて考えることが
できました。



② 院内掲示

昨年9月からの活動のまとめとして活動内容を
病院に来院される飼い主様にも知っていただきたい
との気持ちから待合室に掲示をしました。
小学生のみんなからの心温まる絵日記も待合室に設置
より多くの方に私達の活動の意義を
知っていただくことができました。

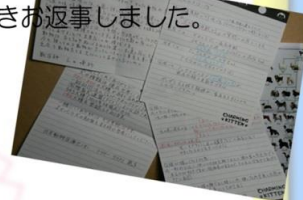


③ ホームページ掲載

院内掲示と同様に、来院しない飼い主様にも
近隣の小中学校に出向き
このような活動をしていることを知って頂く為に
ホームページのトピックに記事を掲載しました。
この記事を見て掲示したポスターを見にきてくださる
飼い主様がいたら嬉しく思います。

④ 質問に回答

昨年ふれあい体験授業をさせていただいた中学校の
生徒の皆さんにアンケート記入をお願いしました。
その際、数人の生徒さんからいただいた質問に
チームメンバーが回答しました。
ひとりひとりに手紙を書きお返事しました。



—— チーム名【センターGUY】の由来 ——

渋谷区の中心的存在で目立っている場所【センター街】
現在は名前が変わりましたが誰が聞いてもわかるような
そんな存在感のあるチームを目指し活動してきました。
渋谷区にある日本動物医療センターも区の中心的存在
になれるように、当院から地域の皆様に
貴重な情報を発信していけるよう
力を合わせ頑張りましょう！との思いでこの名前をつけました。
ちなみに...街⇒GUYとしたのは
黒一点のザキミ君がナイスガイ☆だからです(笑)

メンバー：タカハシ、ナガタ、タケウチ、クラナミ、ザキミ



参加してくれた学校、また院内のスタッフからも高い評価でした。
今後同じような活動を行うことがあれば、今回の経験を活かし
より良いものにできるように活動内容をまとめ記録します。

チーム名に掲げた通り、動物病院が地域の方々に
貢献できることの一つを实践できとてもやりがいがありました。
今回の活動で、小中学生に「動物と生活することの素晴らしさ」
「命の大切さ」を身をもって教えてくれた動物達に
一番の感謝の気持ちを伝えたいです。

☆チャビちゃん ☆ミル君 ☆パピ子ちゃん ☆クマ君
☆アリエルちゃん ☆リッキー君 ☆ミルクちゃん
☆チロルちゃん ありがとうございました！！

バリアフリー

メンバー：菅原、有藤
宮本、佐藤綾

私たちバリアフリーチームは、ご年配の飼い主様や身体の不自由な飼い主様もいらっしゃる当院で、ご不安なく来院していただくにはどうしたらよいのかを考え、マニュアルを作成することになりました。

といっても、福祉に従事していた者もおらず、わからないことも多かったので、身体の不自由な方の体験をしてどうしてもらったら一番助かるのか身をもって感じ、当院での最善の対応をマニュアルにしました。

<課題>

- ① マニュアルの作成と普及
- ② 松葉づえを使っている方の体験
- ③ 全盲の方の体験

<結果>

- ① 作成したマニュアルを中央テーブル、医局、受付裏に置き、誰でも見られるようにしました。



- ② 体験学習をしたことで、松葉づえを使っている方への対応を覚えてもらうことが出来ました。

松葉づえ体験



待合室を歩いたり、
階段を上り下りしたり、
松葉づえをついた状態で
荷物をはこんだり

- ③ 体験学習をしたことで、全盲の方への対応を覚えてもらうことが出来ました。



アイマスクをして
階段を上り下り

実際に身体の不自由な飼い主様がいらっしゃった際に、マニュアルを元にスムーズに対応することができ、動物の治療以外の面でもご不安な思いを少しでも減らすことが出来たのではないかと思います。

<今後の取り組み>

今回の活動でマニュアルは完成ではなく、よりよい対応をマニュアルとして更新していき、多くの飼い主様により満足していただけるよう努力を続けていきたいと思っています。

待合・診察室改善チーム

HONYUASU

名前の由来
メンバーの頭文字♪

堀田 Hotta

長沼 Naganuma

油谷 YUtani

麻生 Aso

祐島 SUKeshima

殺風景だった
診察室に

診察室



風除室



待合室



接触事故を防ぐ！

■近隣のお店の地図を置き
病院のフリーペーパーも置かせて頂きました♪



統一感を出し
分かりやすく

掲示物



待合室は椅子の幅を調整することで通路を広く、接触事故を防げるようにしました。
また、猫ちゃんの優先席を設けました。
飼主様の立場になって親切的な待合室になるように心がけました。
殺風景な診察室は緑のウォールステッカーで統一し、柔らかい雰囲気ですリラックスして診察を受けられるようにしました。
飼主様・スタッフからも
「広くなり明るくなったね♪」「統一感も出てわかりやすく！」
などといった嬉しいお言葉を頂きました♪

安心のお約束 24時間受付
日本動物医療センター



チーム・JAMC通信

『飼い主様への情報発信』

【背景】当院独自のフリーペーパーの作成

- ・JAMCの活動を伝えたい
- ・動物に関する情報提供のツールにしたい
- ・よい製品や治療への貢献がしたい



【実施】第1号を終えて…

- 一方通行にならないコミュニケーションツールを目指す
- ・参加型=Photoコンテスト開催
- ・地域の方々にも情報発信
- ニカフェやペットグッズショップにも設置

【経過】

第1号は創刊から
わずか2か月で
300部飼い主様の
お手元に渡り、
今回第2号も
もう残りわずか!



【結果】

- ①待合室で読んだのですが...などの声を聞く
- ②Photoコンテストを設けたがあまり浸透しなかった
- ③病院ならではの病気の説明なども加えられた



【課題】

- ・配布数や反響以外の客観的評価方法
- ・読みやすさ、内容の充実
- ・院外設置場所の拡大
- ・HPにバックナンバーを掲載したい



以上の課題を踏まえて今後は...♪

毎回特集とシリーズ化した病気の説明などを掲載し、
皆様に分かりやすく理解して、また楽しみに待っていて
もらえるようなツールとなっていくことを目指します。
さらにみんなをSmileにしていけるような情報を
提供していけたらと思っております。

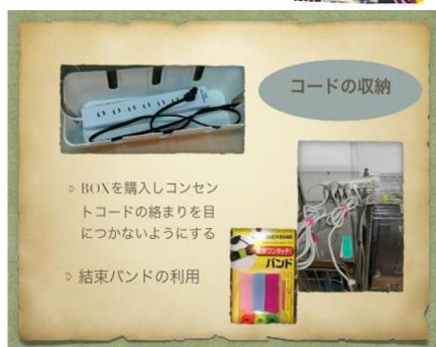
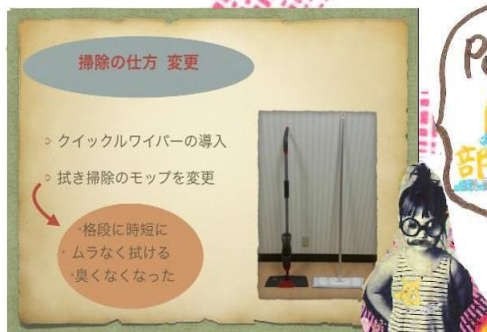


We shall never know
all the good that a simple SMILE can do!

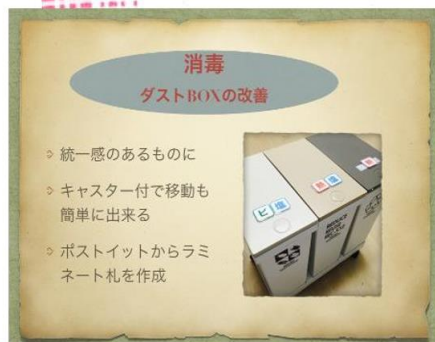


安心のお約束 24時間 看護
日本動物医療センター





継続
していけるよう
試行錯誤中



Stream line

メンバー/

倉本・瀬尾・三浦

～まっすぐ流れる川のように効率よく～

私達は、入院患者の情報共有を
より密に行うために結成されたチームです！

24時間365日。

日本動物医療センターでは、毎日たくさんの患者さんがいらっしやいます。
その中でより良い24時間看護を行うためには、スタッフ全員で情報を共有することがとても大切であると考えました。



そこで… ミーティングの内容を改善しました！

朝

Before

◆全スタッフで◆

夜間に入院した子の報告

◆看護師間、獣医師間で◆

入院している子の夜の変化



After 出勤時間をはやめて…

◆全スタッフで◆

夜間に入院した子の報告

入院している子の夜の変化

昼

Before

◆全スタッフで◆**週3日**

入院している子全員の
現状報告や相談



After

◆全スタッフで◆**平日毎日**

入院している子全員の
現状報告や相談



大切な家族の一員を、病院一丸となって診ています！



～現場改善運動～

院内感染対策チーム

チームメンバー

坂本、竹田、佐藤 亜、村野、福富

病院には様々な子たちが来院されます。ワクチンや爪切りを目的とした健康な子もいれば、病気・高齢で免疫力が低下している子、重度の感染症にかかっている子もいます。病院は病気を治す場所ですが、適切な対策をしなければ感染症が発生しやすい場所にもなってしまいます。

来院して下さる皆様により安心していただくため、私たち院内感染対策チームは「今以上に感染に気を配った診療・看護」を目標として取り組みました。

1. 感染源の拡散を防ぐ

一番大事なことは動物に触れる前後に必ず手洗いと手指消毒をすることです。ある子に触れた手でそのまま他の子に触れると、人の手を介して感染が起こってしまいます。

① 携帯用アルコール消毒剤を導入

以前からそれぞれの入院室にはスタッフ・飼い主様兼用のアルコール消毒剤を置いていました。しかしそれだけでは数が足りず、効率的に消毒できないこともありました。そこで携帯用の消毒剤を導入し、いつでもどこでも待たずに消毒できるようにしました。

before



after



② 各入院室にランドリーBOXを設置

今までは手早く床替えするにあたり、使用済のタオルを床に置いてしまうことがありました。しかしそれでは、見えない感染源がタオル→床→私たちの足と拡散していく恐れがありました。そこで使用済タオルを入れるランドリーBOXを各入院室に設置し、使用済タオルとの接触機会を減らすようにしました。

2. 感染源との接触を減らす

感染症だとわかっている子は感染症対応個室や特別な消毒が必要になります。どの感染源なのかによって消毒法も異なるため、その感染症に合った部屋割り・消毒をしなければなりません。

① 高温スチームクリーナーを導入

寄生虫感染を起こしている場合には熱水もしくは沸騰水による消毒が有効です。今まで食器やタオルには熱水への浸漬消毒をしていましたが、ケージなど浸漬消毒ができないものには次亜塩素酸ナトリウムでの清拭をしていました。高温スチームクリーナーを使うと、それら浸漬ができないものの消毒もできるようになりました。

② 感染症対応個室への入室基準を改定

以前からあった感染症対応個室の入室基準も院内設備の変化に伴い、現在の設備に合うよう改定しました。



まとめ

院内感染マニュアルの改訂

今回、見直した感染対策をもとに、院内感染マニュアルを改訂しました。このマニュアルを改訂し続けることで「今以上に感染に気を配った診療・看護」につながり、来院して下さる皆様がより安心して自分の子連れてきていただけるようになればと思います。

【特集4】

photo shot ☆

第二回

～ 春 ～



【表紙の写真】

高橋 りぼんちゃん♡

おめでとうございます!!

お鼻の形がリボン型♡

本物のモデルさんみたいですネ



『smile』よりお知らせ

photo shot では

飼い主様からのお写真を公募いたします。

次回テーマは 『 元気いっぱい! 』

皆様からのご応募お待ちしております。

smile次号（夏号）表紙となる一枚を選ぶフォトコンテストも兼ねており、
ご応募いただいた写真の中から、抽選で1枚が選ばれます。



smile@jamc.co.jp

件名に『夏号写真募集係り』

本文に飼い主様名・ペット名を入力し、

写真を添付してメールを送信して下さい。

※公募写真は本誌に掲載のみに使用し、他の目的には使用いたしません



ドロボ ちゃん♡



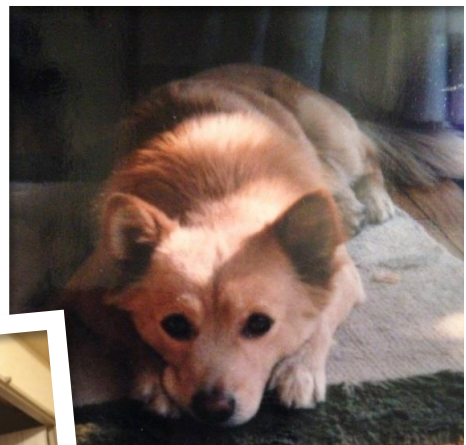
チャイ ちゃん☆

皆さまからのご応募
誠にありがとうございました♡
これからも沢山のご応募
お待ちしております。

smile編集部



さくらちゃん✿



しろうさん🎵



しんじくん🎵

LOVE
AD
ED

ねこちゃん専用



貸切トリミングDAY



at cocoe



物音に敏感な猫ちゃんに
少しでも緊張を解いてあげたい…

そんな想いから、COCOeでは

ニャンダブルDAY

～猫ちゃんの為だけの特別な日～

を設けました。

ワンちゃんの鳴き声はしません！

COCOeの定休日を使って毎月 第一木曜日 限定

＜＜ 完全予約制 ＞＞

その子の為だけの… 落ち着いた静かな環境でのシャンプー
少しでも快適な空間をご提供いたします。



料金のご案内

【シャンプーコース】 【トリミングコース】

【特別貸切料金】

短毛

¥1500～

¥10500～

+

¥1000

長毛

¥9500～

¥12500～

※税抜価格表

ねこちゃん

貸切外来はじめます！

当院では、毎週木曜日にねこ専門の外来時間・病気相談の時間を設置します

予約制診察、ねこちゃん専用の待合室を設けるなど、

“ねこちゃんへのストレスを最小限にする” ことを第一に考えました。

飼い主さんだけの来院相談も可能です。

長年ねこちゃんを飼われている方はもちろん、初めて飼うという方も
どうぞお気軽にお尋ね下さい。

獣医師より

ねこちゃん健康診断のおすすめ

ねこちゃんの外来・相談とともに、健康診断を行うことができます。
またねこちゃんは体調が悪くてもなかなか訴えてくれず、
病気の発見が遅くなりがちです。

健康で生き生きとした暮らしを送るために、ご自宅のねこちゃんの健康状態を把握し
一緒に対策を考えていきませんか？

ねこ健康診断

問診、尿検査、血液検査、レントゲン、超音波検査など

ねこ 貸し切り外来・相談室

毎週木曜日（予約制）

（第一木曜日は除きます）

※第一木曜日：にゃんダブルdayとなります

（猫ちゃんの為だけのトリミングの日）

場所：当院併設トリミングサロンcocoeにて

ご希望の方は事前にお電話にてご連絡下さい



安心のお約束 24時間🐾看護🐾

日本動物医療センター



『ばにっちょの闘病日記』 vol.3

2014年秋号で紹介しました当院の

バーニーズマウンテンドック

『ばにっちょ』。

左肘の悪性腫瘍をとるために、断脚手術という決断をしました。

昨年夏、無事手術を終え、手術から半年たった現在も

3本足でも活発に器用に

元気に過ごしています！

月一回の血液検査やレントゲン検査、超音波検査においても異常は見つかっておらず、再発もおこっていません。

Profile

2007年5月4日 日本動物医療センター入社
バーニーズマウンテンドッグ
女の子
血液型 : DEA1.1(+)
好きなもの : にんげん
嫌いなこと : 無視されること
大好物 : にんげん
特技 : お尻で挨拶
相方 : ダル男 (ダルメシアンめ)
2008年5月14日コンビ結成



Happy Birthday!!!

今年でばにっちょ、8歳を迎えました。

今年は病気も乗り越え、無事に元気にしていることもあり、

1か月先の相方のダル男君と合同で誕生日のお祝いをしてもらいました！



I'M HERE

1.動物看護師になった理由は？

きっかけは動物好きな祖父の影響からです。人も動物も好きなので、
どちらも深く関わり双方の架け橋となれるような職種を考え、
たどり着いたのがここでした！

2.実際に働きだしてどうですか？（センターの印象も）

明るいスタッフしかいないので毎日楽しい職場です(笑)
まだまだ自分の未熟さにぶち当たる場面ばかりですが・・・
その子の為になにをしてあげられるか最大限考え、
少しでも不安をやわらげてあげたいです。

3.休みの日はなにしてる？

ダラダラもあり！飲んだけれももあり！笑
のんびり過ごすのも良いですが、外に出て体を動かすのが一番ですね！

相澤 菜野 - Nano Aizawa -



うちの子紹介♪ ちろるちゃん

ペレットよりもおやつが大好きな男の子です。
3月に歯切りの手術も頑張りました！
去年の学校訪問にはうさぎ代表という
大役を受け小学校デビュー！
遊んでくれた皆さん、ありがとうございます。

献血のお願い

ひとつでも多くの命を救いたい

献血してくれる子募集中！

わんちゃん、ねこちゃんも輸血が必要なことがあります。
しかし人のように献血システムが確立されておらず、
必要な血液の確保が困難な状況です。
そこで当院では輸血プロジェクトを立ち上げました！
ご協力頂けるわんちゃん、ねこちゃんを募集しています。
詳細な献血の条件、当日の流れなど詳細に関しましては、チラシやHP、
またはスタッフまでお気軽にお問い合わせください。

こんな子を募集しています！

- * 健康なわんちゃん（満1～7歳）
健康でお部屋飼いのねこちゃん
（満1～8歳）
- * 交配経験のない男の子
妊娠、出産歴が無く、
現在妊娠中でない女の子
- * 定期的に必要な予防を受けている子

【待合室のご案内】

ねこの専用外来はじめます
ウサギ外来に続き、ねこちゃん専用外来
（健康診断・相談）を始めます！
毎週木曜日（第一木曜日を除く）に、
併設のトリミングサロンを使い
その子だけの貸し切り外来（時間制）
を行います。
完全予約制となります。
お気軽にお問い合わせください。



information

*緊張しがちな

ねこさん、ウサギさんへ*

待合室でお使いいただけるように
キャリーカバーをご用意いたしました。
ご希望の方は、受付までお申し付け下さい。

【院内でのマナー】

人も動物も気持ちよく過ごすために

オフリードはご遠慮ください

当院には5種類の動物たちが来院するほか、中には他の子が苦手な子もいらっしゃいます。お待たせしてしまう事が多々ありますが、トラブルを未然に防ぐために、ご協力をお願い致します。

携帯電話はマナーモードに

音に敏感な子もいらっしゃいます。びっくりさせてしまう事のないよう、音の出ないような設定をお願い致します。また入院の子にご面会される際は、電源をお切りくださるようお願い致します。

院内セミナーご案内

4 2015 APRIL



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1 友引	2 先勝	3 仏滅	4 大安
5 赤口	6 先勝	7 友引	8 先勝 エイプリル・フール	9 仏滅	10 大安	11 赤口
12 先勝	13 友引	14 先勝	15 仏滅	16 大安	17 赤口	18 先勝
19 先勝	20 仏滅	21 大安	22 赤口	23 先勝	24 友引	25 先勝
26 仏滅	27 大安	28 赤口	29 先勝	30 友引		

昭和の日



5 2015 MAY



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1 先勝	2 仏滅
3 大安	4 赤口	5 先勝	6 友引	7 先勝	8 仏滅	9 大安
10 赤口	11 先勝 憲法記念日	12 友引 みどりの日	13 先勝 こどもの日	14 仏滅 昭和の日	15 大安	16 赤口
17 先勝	18 仏滅	19 大安	20 赤口	21 先勝	22 友引	23 先勝
24 仏滅	25 大安	26 赤口	27 先勝	28 友引	29 先勝	30 仏滅
31 大安						

6 2015 JUNE



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1 赤口	2 先勝	3 友引	4 先勝	5 仏滅	6 大安
7 赤口	8 先勝	9 友引	10 先勝	11 仏滅	12 大安	13 赤口
14 先勝	15 友引	16 大安	17 赤口	18 先勝	19 友引	20 先勝
21 仏滅	22 大安	23 赤口	24 先勝	25 友引	26 先勝	27 仏滅
28 大安 父の日	29 赤口	30 先勝				

院内セミナー

テーマ

『たかが、ごはん。されど、ごはん』

予約制(先着5組)

4/11(土)【ダイエットを本気で考える!】

19:00~

5/2 (土)【高齢犬のごはん】

19:00~

2/28 (土)【より良いごはんを選ぶためには】

19:00~

6/13 (土)【ねこの慢性腎臓病ごはん】

19:00~



【パピークラス】

毎週火曜日(祝日除く) 12:30~

予約制 教室参加費500円



【しつけ教室】

毎週月曜日(祝日除く)12:30~

予約制 教室参加費500円



【はみがき教室】

第2・4木曜日12:30~

第3土曜日18:30~

予約制 教室参加費500円

ご予約はお電話、HPもしくは
直接スタッフまでお問い合わせください

Tel 03-3378-3366



理念

“想い”をもって
常に“安心”を提供する

🕒 通常診療受付時間

	平日	土日祝
9:00 ↓ 12:00	○	○
12:00 ↓ 14:00	緊急のみ	○
14:00 ↓ 17:30	○	○
17:30 ↓ 20:30	○	—

📞 【予約診療】
9:00～17:00
状況に応じてお受けしております。
担当医の指名はお受け出来ません。

🚶 【緊急診療】
24時間受付しております。

👤 【面会・相談時間】
11:00～12:00
14:00～17:00

🏠 【入院中容態等のお問合わせ】
11:00～17:00

※上記の通常診療時間を過ぎますと
時間外料金を頂いております。

夜間診療のご案内

当院では、常に獣医師と看護師が常勤しており、夜間の緊急時の診療も対応しています。また、必要に応じて緊急手術や手術後の入院の受け入れも行っています。来院時に迅速な対応ができるよう、お電話で症状をお知らせください。

お問い合わせが集中しているときなど電話がつながりにくい場合があります。お手数ですが、しばらくたってからおかけ直してください。

昼間より少ない人数体制で診療にあたっておりますのでお待たせしてしまうことがあります。看護師がまずご様子をみさせていただき緊急の場合はお預かり、迅速な対応をさせていただきます。

夜間など時間外診療においては、別途料金をいただいております。

🐾 診療対象動物



安心のお約束 24時間 看護

日本動物医療センター

〒151-0071

東京都渋谷区本町6-22-3

TEL. 03-3378-3366

<http://www.jamc.co.jp>



麻布十番犬猫クリニック
AZABU JUBAN DOG&CAT CLINIC

麻布十番犬猫クリニック
AZABU-JUBAN DOG&CAT CLINIC
—宮古島分院—

併設トリミングサロン
COCOë